

# 歴代広報委員長座談会

今号をもちまして「緑法人会ニュース」も発行100号を迎えることができました。  
これも偏に会員の皆様方のご協力があつてのことです。  
ここに感謝の意を表し厚く御礼申し上げます。  
そこで、今回は発行にご尽力いただいた歴代の広報委員長による座談会を企画いたしましたので、  
その模様をお届けいたします。



## 長根

本日は、お忙しいところお時間をいただきありがとうございます。「緑法人会ニュース」も今回で100号という区切りを迎えることができました。

そこで歴代の広報委員長に思い出話や苦労話、いまだから話せる秘密などをお聞かせ願いたいと思います。

## 斎藤

昭和60年8月に、神奈川県法人会から緑法人会として独立したとき、広報も素人の集団で、取材方法もわからず大変苦労しました。原稿をお願いしてもなかなか受けてもらえず、いつも困っていました。長津田に事務局があったときには事務局で原稿が集まらず、当時の事務局長とも頭を抱えることが多かったですよ。

その中で支部長さんたちの取材協力も得られ、支部

## 出席者

初代委員長	斎藤佐喜男氏
二・四代(現)委員長	飯田 靖夫氏
三代委員長	浜田 雪江氏
広報委員	長根 信康(進行役)

紹介の記事も多く書くことが出来、助けられました。

創刊からしばらくは、予算付けにも大変苦労しました。そのため企業訪問を多くして、広告も多く入れ、写真も委員長自らカメラをぶらさげて取材してまわりました。

当時は、原稿が間に合わず不定期発行も余儀なくされました。

## 浜田

そうですね。当時は記事だけではなく、広告をいただくこともしなければいけなかったので大変でした。

## 飯田

表紙には大変苦労しました。また、会員の投稿を募集しましたが、会員の皆様が多趣味にもかかわらず投稿が無く、記事に苦労しました。これは現在も同じです。

## 浜田

前任の飯田委員長さんが苦労していたのが表紙でし



初代委員長 斎藤佐喜男氏